

2000年の対東アジア貿易の動向

アジア通貨危機の影響、その後

永田 雅啓 Masahiro Nagata

埼玉大学教養学部 教授
(財)国際貿易投資研究所 客員研究員

2000年の日本の貿易構造における特徴は、対東アジア輸出入の顕著な増大にある。すなわち2000年の輸出数量面で見ると対NIES、対ASEAN4、対中国でそれぞれ前年比18.0、21.0、19.1%増と非常に高い伸びを示す一方、輸入面においてもそれぞれ同17.7、12.3、22.8%増と急拡大した。これは、輸出入数量ともに5%未満の伸びもしくは減少となっている対米や対EU15貿易とは著しい対照をなしている。これにはいくつかの解釈が成り立つ。

第1は、アジア経済自体の通貨危機からの回復である。輸出面では特にこの傾向が明確に示されている。すなわち韓国のように直接的な経済危機が生じた国も2000年には1997年の水準に回復してきている。確かにタイやインドネシアなどではいまだ97年の水準には回復していない。ただし、2000年のこれらの国に対する日本の輸出は2桁の伸びを示しており、マクロ面での順調な景気回復を示している。総体としてアジア諸国経済は1999年前半でアジア通貨危機による最悪期を脱し、2000年後半には明確な回復基調に向かっている。

第2の解釈は、アジアの対米輸出の増大に伴い日本からの輸出が拡大しているという面がある。例えば、対NIES輸出の6~7割は資本財であるが、2000年には韓国31.0%、台湾17.5%、香港26.6%、シンガポール33.1%と日本からの資本財輸出数量が著しく増大している。特に伸

びが大きいのは完成品資本財である。すなわちアジア域内における設備投資ブームに日本からの資本財輸出が対応していると考えることができる。ただし、2001年以降に米国景気が停滞もしくは後退すれば、こうした資本財輸出は横ばいもしくは減少に転ずる可能性もある。

第3に、輸入面であるが、1997年に比較して韓国、台湾からの輸入数量は40~50%も上昇している。ASEANについても品目別に見てみると工業用原料、耐久消費財、資本財などでの伸びが高く、日本の景気回復に伴う輸入拡大であることを示している。しかし、ここでも資本財の輸入数量の伸びが非常に大きい。すなわち、タイ51.2%、マレーシア47.0%、フィリピン42.9%とインドネシアを除く各国の輸入数量は50%近い伸びとなっている。

日本は現在景気が回復する過程にあり、投資需要も拡大しているが、こうした資本財輸入の急増を説明できるほどの景気回復は示していない。日本の資本財輸入は、韓国、台湾だけでなくASEANや中国などからも急増しており、景気循環要因というより、むしろ構造的要因と考えられる。すなわち、かつてはワンセット主義と言われた日本の産業構造が東アジア地域に外延的に拡大し、部品や資本財の輸出入を通じて日本とアジアの経済統合が進展していると思なすことができよう。

(注) 図表はすべて財務省「通関統計」をもとに、国際貿易投資研究所が作成している貿易指数データベースより編集。

表1 日本の輸出数量の推移 (1997～2000年)

	輸入数量 (1995年=100)				伸び率 (%)		
	1997年	1998年	1999年	2000年	1998/1997	1999/1998	2000/1999
対世界	111.6	109.2	111.6	122.8	2.2	2.2	10.0
対米国	105.3	113.4	118.9	122.3	7.7	4.9	2.9
対EU15	115.8	131.0	127.9	124.5	13.1	2.4	2.7
対東アジア	108.9	91.6	96.9	114.3	15.9	5.8	18.0
対NIES	107.9	94.5	98.7	116.5	12.4	4.4	18.0
対ASEAN4	100.9	72.1	79.0	95.6	28.5	9.6	21.0
対中国	120.1	119.1	145.3	173.0	0.8	22.0	19.1

表2 日本の輸入数量の推移 (1997～2000年)

	輸入数量 (1995年=100)				伸び率 (%)		
	1997年	1998年	1999年	2000年	1998/1997	1999/1998	2000/1999
対世界	109.4	103.2	111.2	127.3	5.7	7.8	14.5
対米国	105.9	97.5	96.4	97.0	7.9	1.1	0.6
対EU15	107.7	93.9	95.6	99.8	12.8	1.8	4.4
対東アジア	109.9	106.0	123.6	147.5	3.5	16.6	19.3
対NIES	97.6	92.1	108.8	128.1	5.6	18.1	17.7
対ASEAN4	111.6	108.1	120.3	135.1	3.1	11.3	12.3
対中国	121.0	117.1	139.7	171.5	3.2	19.3	22.8

図1 対NIEs輸出数量の推移 (1998～2000年)

1997年2Q=100とする指数

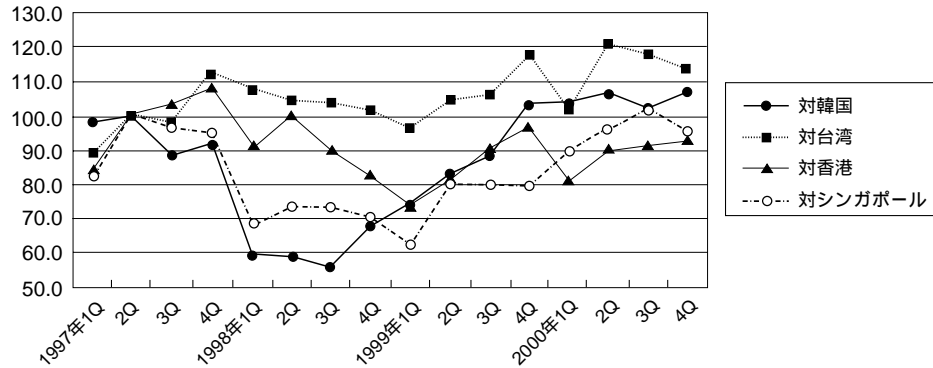


図2 対NIEs輸入数量の推移 (1998～2000年)

1997年2Q=100とする指数

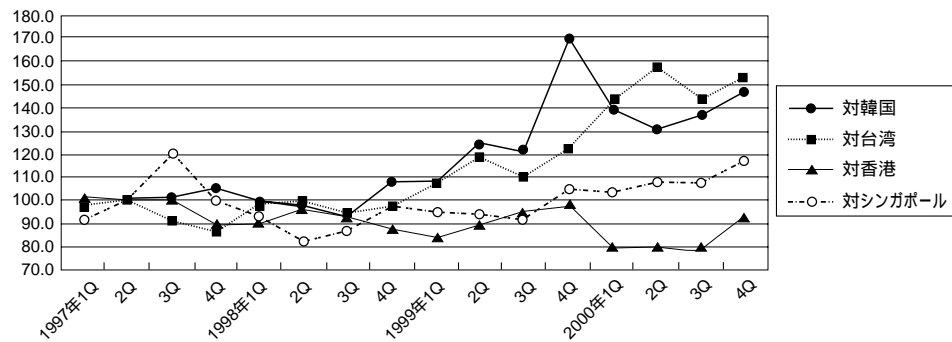


表3 NIEsの国・地域別、品目別輸入数量の変化率（2000/1999年）

	韓国		台湾		香港		シンガポール	
	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比
総輸入	5.9	(100.0)	28.2	(100.0)	10.8	(100.0)	13.9	(100.0)
食料等	17.9	(9.1)	12.2	(5.7)	0.9	(3.7)	18.8	(4.4)
工業用原料	3.7	(37.4)	2.5	(14.9)	0.7	(14.3)	8.4	(18.2)
資本財	20.4	(41.2)	41.8	(66.4)	12.1	(50.8)	6.9	(69.6)
非耐久消費財	14.5	(6.7)	4.8	(1.5)	0.9	(10.9)	10.8	(1.0)
耐久消費財	0.9	(8.2)	10.7	(11.2)	19.8	(19.8)	8.6	(5.9)

(注) 括弧内は輸入金額での構成比

図3 対ASEAN4輸出数量の推移（1998～2000年）

1997年2Q=100とする指数

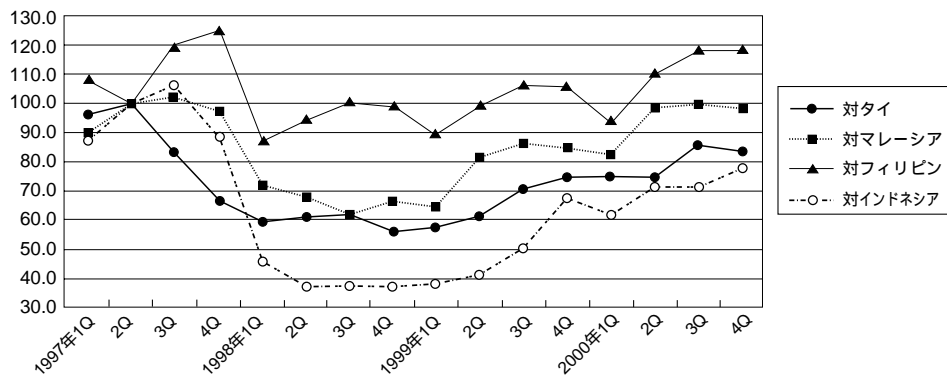


図4 対ASEAN4輸入数量の推移（1998～2000年）

1997年2Q=100とする指数

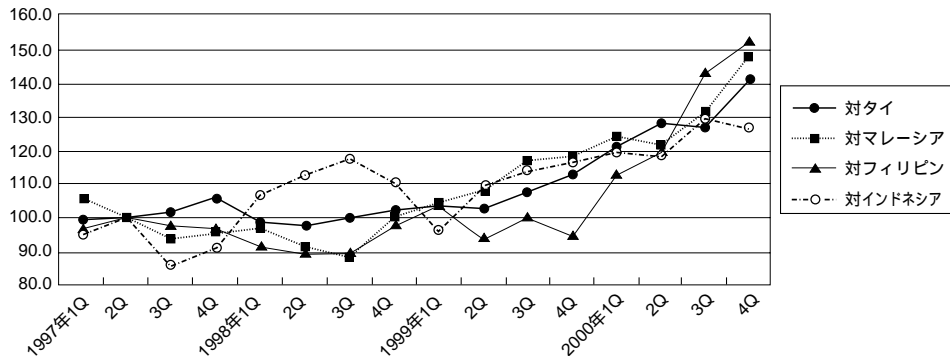


表4 ASEAN 4の国・地域別、品目別輸入数量の変化率（2000/1999年）

	タイ		マレーシア		フィリピン		インドネシア	
	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比
総輸入	23.1	(100.0)	17.4	(100.0)	32.0	(100.0)	13.1	(100.0)
食料等	3.4	(21.8)	15.8	(1.1)	3.4	(10.4)	5.4	(6.9)
工業用原料	12.9	(20.1)	4.7	(40.5)	31.4	(11.2)	1.3	(77.0)
資本財	51.2	(41.0)	34.3	(47.0)	42.9	(69.8)	6.7	(9.4)
非耐久消費財	5.6	(3.9)	0.8	(1.3)	4.9	(2.2)	0.3	(2.3)
耐久消費財	13.4	(12.6)	10.8	(9.8)	6.1	(6.0)	7.2	(4.2)

(注) 括弧内は輸入金額での構成比